

令和4年11月21日
(2022年)

吹田市立小・中学校屋内運動場空調設備整備事業における
サウンディング型市場調査等実施結果

吹田市立小・中学校屋内運動場空調設備整備事業を実施するに当たり、民間事業者の参画可能性や課題確認のため、事業概要説明会、サウンディング型市場調査及びアンケート調査を実施しました。

1 事業説明会等の概要

(1) 事業概要説明会

令和4年8月23日 計20社が参加

(2) サウンディング型市場調査

令和4年8月23日～9月1日 計11社と意見交換

(3) アンケート調査

令和4年8月23日～9月1日 計7社から回答

2 調査結果の概要

| | |
|-------------|---|
| 設置工事の期間 | 参加のあった多くの企業から、設置工事の期間は、土日や長期休業期間のみではなく、平日にも分散して作業日を設けることや一定期間に限って使用制限を設けることを検討して欲しいとの意見があった。理由として、作業日の集中による作業員不足を避けることが挙げられた。 |
| 地元企業への配慮 | 地元企業を積極的に活用することや市内企業が事業に参画することを評価して欲しいという意見が多くあった。また、市内企業に係る評価の視点について、協力企業とする場合も評価してほしいという意見もあった。 |
| 希望する事業方式 | PFI (BTO) 方式を希望する事業者が最も多かった。理由として、現在実施中の特別教室等空調設備整備事業と同じ方式であることや、代表企業を中心にした連絡や指示系統が確立できることが挙げられた。 |
| 建設費高騰 | 昨今の建設費高騰が著しく、建設物価の上昇リスクが大きいので、建設段階での物価改定を見込んでほしいとの意見が複数あった。 |
| 空調のエネルギーの選択 | 空調のエネルギーの選択については、グループの組成に影響するので、方針をできるだけ早く示して欲しいという意見が多くあった。 |

| | |
|----------|---|
| 段階的な引き渡し | 順次整備される空調機器については、施工期間終了時に全てを一括して引き渡しを行うのではなく、数回に分けて段階的に引き渡して、支払いを行ってほしいという意見が多くあった。また、その場合には、通常のフルメンテナンス期間の終了時期が維持管理期間中に段階的に終了することが課題であるとの指摘もあった。 |
|----------|---|

3 今後の検討方針

いただいたご意見、ご提案や、別途設置を予定している委員会における意見等をもとに、令和5年度の事業者募集に向けて検討を進めてまいります。

また、サウンディング調査等において、多くのご意見があった「設置工事の期間」及び「空調のエネルギーの選択」に関しては、次に示す方針とする見通しです。

- (1) 可能な範囲で屋内運動場の使用を一定期間中止し、平日昼間を含め連続して工事ができるようにします。
- (2) 本事業において整備する空調機器等は、市が要求水準書に示す条件の範囲で、民間事業者が次に示す形式から選択することとします。
 - 小学校： 「電気式 EHP 空調機+LP ガス発電機【三相機約 50kVA 以上】」、又は「ガス式 GHP 空調機+PA（プロパンエアガス）設備」
 - 中学校： 「電気式 EHP 空調機+LP ガス発電機【約 10kVA 以上】」

以上